

会長挨拶

鵬友会会長
澁谷 明幸



鵬友会会報「おおとり」(Vol.27)発行に際しまして、会員の皆様にご挨拶申し上げます。

長崎県立大学佐世保校同窓会「鵬友会」会員の皆様におかれましては、お変わりなく益々清栄にて活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、「鵬友会」の目的はその名のとおり、会員相互の親睦を深め、母校の発展につくし、あわせて社会の発展に貢献することにあります。混沌とした国際情勢、経済情勢の上向きが実感できない中、情報交換や親睦を兼ねて各地で催されている支部総会等は、益々重要になってきたと思われまします。会員の皆様におかれましては、同級生・先輩・後輩に声を掛けていただき、参加会員の若返り、支部活動の活性化にご協力いただきますようお願い致します。

なお、同期会などの開催の広報は、同窓会事務局のホームページ「鵬友会から皆様へ」を通して行うことができますのでご利用下さい。(連絡は事務局へご連絡ください)。

また、平成二十六年十一月十五日(土)と十六日(日)の両日、恒例の佐世保就職セミナーが予定されています。本部から各支部長に模擬面接官募集の依頼をします。皆さん奮ってご参加のほどお願い致します。

最後になりましたが、会員の皆様の今後一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますとともに、鵬友会のさらなる発展に向けてご支援ならびにご協力をお願い致します。

今後とも私をはじめ役員一同精一杯務めていく所存でございますので、皆様のご支援、ご協力を切にお願いしまして、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

理事／永嶋 圭祐(平成元年度卒)

現在、親和銀行に勤務いたしております。微力ではありますが鵬友会の発展に尽力する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事／松永 彰裕(平成10年度卒)

九州ひぜん信用金庫の松永です。当庫には現在13名の県大卒業生が勤務しており、今年も新しい仲間が加わりました。地域に根差した金融機関として、今後も鋭意地元採用をして参ります。

監事／林 宏俊(昭和49年度卒)

市役所を定年退職し、佐世保市中小企業勤労者福祉サービスセンターに勤務しています。母校の存在は地域社会の発展に今や不可欠のものとなっております。更なる発展と活躍を期待しております。

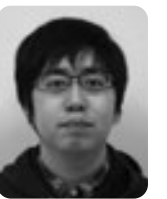
理事／池田 明人(昭和63年度卒)

Uターンで26才の時に佐世保に戻って以来、空手道部のコーチ、監督として大学には関係してきましたが、空手道部には後任が出来ましたので、今後はOB会のお役に立ちたいと思います。宜しくお願いします。

新役員紹介

昨年参加の学生から嬉しい言葉が届きました。

就職活動に真摯に取り組み
はじめのきっかけに。



経済学科4年
船津 尚広

佐世保就職セミナーに参加し、就職活動における様々な指導をいただきました。就職活動を始める前にセミナーに参加できたことで自分の成長につながりました。大変充実した二日間でした。面接指導では緊張し言いたいことをまとめることができずでしたが、的確な指摘と優しく丁寧な指導をしていただいたおかげで、しっかりとした意見をまとめることができたとともに、成長を実感することができました。

セミナー参加前に準備はしましたが、業界研究や自己分析が足りていないことがわかり、しっかりと反省することができました。

二日間のセミナーを終えて、私一人ではわからなかった「社会人とは何か」「就職活動にどう取り組むか」を学ぶことができました。また就職活動に真摯に取り組むはじめるきっかけにもなりました。様々な方が応援してくださっていることを忘れずに、これからの就職活動に積極的に取り組みたいと強く思っています。

お忙しい中、お時間をいただきありがとうございました。



多くのOBが面接官として応援

セミナーでの経験を活かし
就職活動に真剣に取り組む。



地域政策学科4年
井上 日子

佐世保就職セミナーでは様々なことを学ぶことができ、就職活動に真剣に向き合う機会になりました。セミナーに参加するために、自己分析や他己分析、グループ面接練習などの準備をしました。しかし、いざセミナーに臨むと自身の知識不足を痛感する場面が多く、焦りを感じました。また、言いたいことが上手くまとまらず正確に伝えることができませんでした。

準備はしていたつもりでしたが、結果的に就職活動に対する意識の低さが露呈してしまいました。お忙しい中、私たちのために面接官を務めてくださったOBの方々に失礼だったと深く反省しました。

後日、記入していただいた面接票が返却されました。そこには激励やアドバイ스가たくさん記入されており、先輩方の温かさに胸が熱くなりました。反省点を改善するために、準備不足であった自己分析や業界研究を一からやり直しました。セミナーでの経験を活かし、積極的に就職活動に取り組めます。

本年度は11/15(土)・16(日)開催 セミナー応援者募集

本年も11月開催予定の佐世保就職セミナー応援者を募集しています。後輩への良いアドバイスをお願いします。お問い合わせ・お申し込みは各支部長又は鵬友会事務局まで

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会報

Vol. 27

発行

長崎県立大学佐世保校同窓会鵬友会
佐世保市川下町一二三(大学内)
TEL/FAX 〇九五六一四七五二四六
フリーダイヤル 〇二〇一四七一九〇四四

何年たっても、
仲間仲間。



平成25年度総会

鵬友会副会長 宮地 学

(昭和52年度卒)

平成二十五年七月十三日(土)にレオプラザホテル佐世保にて鵬友会総会が開催されました。

現在、鵬友会の総会は、本部役員と支部長で構成される役員総会が毎年一度開催され、全会員が対象となる全体総会が三年に一度開催されています。

平成二十五年は全体総会の年に当たり、当日は十五時から役員総会、十七時から全体総会、十八時から懇親会が開催されました。

①役員総会
役員総会には本部役員と全支部長の二十九名が出席し、全体総会提出予定の平成二十四年度の活動報告および決算書並びに平成二十五年度の活動予定および予算についての原案が提示され、全会致で承認されました。

その後、本部役員と各支部長との間で意見交換があり、若手会員の増加対策や総会案内等の郵送費対策等が重要な課題として提起されました。

②全体総会

全体総会には五十四名の会員が出席し、役員総会で承認されました平成二十四年度の活動報告および決算書並びに平成二十五年度の活動予定および予算について報告され全会一致をもって承認可決されました。

平成二十五年七月十三日(土)
おおとりたちが一堂に集う。

また、新役員として林宏俊監事、池田明人理事、永嶋圭祐理事、松永彰裕理事の各氏が推薦され、全員の就任が承認されました。新役員のみならず、皆様もよろしくお願いいたします。

なお、決算内容については、全体総会を三年に一度に改訂したことや会報の発行回数を整理したことにより、繰越金の減少に歯止めがかかり、財務状態が健全化しているとの報告が岩崎会計からありました。

③懇親会

懇親会には会員六十名に加え、太田学長、古河副学長、石川経済学部長、谷澤学生部長、柴田次長兼総務課長、平川次長兼学生支援課長、西原就職課長、濱田輝治元事務局長が来賓として参加され、大いに飲み、大いに語り、大いに旧交を温めることができました。



7月14(日) 玄海町「魚山人」 日帰りツアー

荒木 義伸
(昭和53年度卒)

総会翌日、藤本副会長夫妻、宮地副会長他十二名のメンバーはマイクロバスでレオプラザホテルを出発し、約二時間で玄海町の仮屋漁港に到着しました。

漁村以外には何も無いようなその港からお店に電話を入れると、程なくして店主自ら船で迎えに来てくれました。

染みついた無き清潔な白衣姿の小柄な店主は、浅黒く日焼けした顔で愛想よく人柄の良さがそのまんま顔に出たような笑顔で私たちを船に案内してくれました。(ただの漁師料理の店じゃないな、という予感...)。

店内は海が見えるだけというシンプルなお座敷で、切り立った崖と海との間の僅かなスペースにお店が作っており、お店と海と崖以外何も無いという、これが本当の隠れ家レストランというフォーカスされる心配が一切無い芸能人御用達のお店と思っただけではないだろう。このポットが焙茶でビール類は冷蔵庫に入っているから勝手に取ってもらって後で申告してくれという説明はセルフサービスというよりも自由気ままにどうぞという雰囲気です。貸切気分を満喫できそう。

最初に出てきたのは五種盛のお刺身、塩分控えめで少し甘みのある手作りのお醤油でいただく、まったりとした魚の旨みが口いっぱいに広がります。



満足一杯の料理でした。また行きたい!



旨い！ツマとして盛り付けてあった自家栽培のお野菜をこれも手作りのポン酢でいただく、と新鮮なジャキンキとした食感に加え爽やかな甘さがなんとも心地よいのだ。続いて出てきたサザエの壺焼きも身はやわらかく、肝も苦味はなく何個でも食べれそう。

その後揚げ物煮物などが次々に出てきて、お腹いっぱいになった胃袋に何とか隙間を作りながら食べ続けたのでした。シメに出てきたのは古代米の塩分は海水を使用しているとのこと、今まで味わったことのない魚の旨みをやさしく包み込んだようなお吸い物でした。

何でも本当に美味しくて限界まで食べ尽くしましたが、食べきれずに残してしまっただけに目を遣りながら、無念の思いで帰りの途についたのでした。

7月14(日) 親睦ゴルフ大会 [平戸カントリークラブ]

浜辺 千昭
(昭和46年度卒)

総会の熱気覚めやらぬ翌日、恒例の親睦ゴルフ大会が、濱田輝治元事務局長を始め十二名のゴルフファンが参加し、平戸カントリークラブで開催されました。

参加者の名譽のため、スコアには敢えて触れませんが熟練者あり、初ゴルファーありでの好プレー、珍プレーが多発する中、心通う仲間と親睦を深めたことは言う迄もありません。日頃の喧噪を忘れ、本当に楽しい一日でした。

因にその日一番使われた言葉は「ファ！」だったのかもしれない。吾こそは！と思っただけの方には是非次回はご参加下さい。



今回は、母校で永年教鞭をとられ、鵬友会を心から応援して頂いています。秦教授にご寄稿頂きました。

「飲水思源」 ―一杯の水に思う―



特別会員 秦耕司

「飲水思源」とは、水を飲む時に井戸を掘った人の苦勞に思いを致し「その恩を忘れない」という意味の中国の成語です。

日本には「駕籠に乗る人、担ぐ人、そのまた草鞋を作る人」という諺があります。長崎にある中国総領事館に新任の総領事が着任されると、久保元県知事のお墓参りをされるそうです。その理由を尋ねると、「飲水思源」という答えが返ってきました。

大学の対留学生対応の歴史を振り返ってみると、鵬友会は大学にとつて井戸を掘った人に当たります。大学は、以前は公立大学の性格上、留学生を歓迎する食事代の予算も無理でした。

留学生を歓迎している姿勢を何とか示したいと、学生部長を中心に試行錯誤が続いていた最中、鵬友会から「留学生を励ます会」をする旨の情報が伝えられました。この時は、学生部長はもちろん、学長を含めた関係者同大歓迎でした。卒業生が歓迎する。これはある意味では、大学主催の歓迎会よりもその気持ち伝わりやすい。こんな



懐かしい母校正門

有り難いことはありませんでした。留学生たちは毎年催される「励ます会」を楽しみにしていました。お陰様で、現在の留学生への対応としては、宿舍費補助の制度や留学生後援会ができた、生活上の便宜を図る機会を設けたり、今年は留学生寮も完成するなど、軌道に乗ってきました。

軌道に乗ってからの立場の役職に就くと、つい自分たちが面倒を見ているのと思いがちになります。私たちがいざばん心に留めなくてはならないのはこの点です。大学が留学生を増やそうと努力を続けていた最も大事な時期に、卒業生の人たちがその原動力ともなる「励ます会」を長年に亘って実施して下さったことを忘れることはできません。

退職に当たって、留学生を通してご縁を戴いた鵬友会の恩を忘れることなく、このご縁を続けさせて戴きたいと思つて特別会員にさせて戴いたことは私の在職中の出来事で、最も忘れられないことの一つです。

鵬友会が果たされた貢献を卒業生のみならずにも是非知って戴きたいと思ひ、挨拶を兼ねて筆を執った次第です。

福岡支部

支部長 米村 裕昭
(46年度卒)

090・8052・06806
hico@jonenrui@gmail.com
(自宅)

福岡県宗像市栗ヶ丘1・15・19

平成二十五年 福岡支部総会・懇親会 開催報告



平成二十五年年度の福岡支部総会(懇親会)は今年も「今年たつても、仲間は仲間」を合言葉に四月二十日(土)、福岡の中華料理「平和楼(天神本店)」で開催されました。安田前支部長が体調不良を理由に退任されて年が経過いたしました。当日は、来賓に副学長の古河幹夫氏、事務局長の百岳敏晴氏、熊本支部長の杉田恵司氏、関西副支部長の金子順興氏、また、シールボルト校同窓会会長の馬込八寛氏、シールボルト校同窓会監査の早川昌宏氏計六名にご参加いただき

きました福岡支部から二十名の会員の方々にご参加いただき、深く感謝申し上げます。

総会では①平成二十四年度活動報告、②平成二十五年活動予定、③新年度の福岡支部役員紹介、④平成二十四年度の決算報告をご承認いただき、無事閉会することが出来ました。

課題としては残念ながら参加者の拡大が図れなかったこと、特に若い会員の参加が少なかったことです。と同時に、発信枚数の回収率が十九、二%と低調で、団塊の世代の私たちにとりまして、本当に残念でなりません。そんな中で、「役員定例連絡会」はおかげさまで、昨年より九回開催することができました。同窓会組織を通じて人と人との「絆」を広げ心豊かな生活を今後も続けたいと思います。

最後に昨年平成二十五年(二〇三年)の「役員定例連絡会」「飲み会」の会場となりました「居酒屋」さんをご紹介します。参加人数の報告です。

- ① 四／二十(土) 福岡支部総会後の二次会の設定で
会場：中洲居酒屋 平野
参加人数：二十名
- ② 五／二十四(金) 会場：竹乃屋駅東店
参加人数：七名
- ③ 六／二十一(金) 会場：つば八筑紫口店
参加人数：八名
- ④ 七／二十六(金) 会場：てえ吉
参加人数：七名
- ⑤ 八／十六(金) 会場：かんてきや博多本店
参加人数：七名
- ⑥ 十／十六(土) 会場：海風土シールフード
参加人数：六名
- ⑦ 十／二十九(金) 会場：大漁日本海 庄や

参加人数：十五名

「前安田支部長の追悼会」九州の他支部の方々のご参加をいただき、ありがとうございました。

⑧／三十一(金) 会場：なん伝馬家(なんでんうまか)

参加人数：七名

⑨／七(金) 会場：福玄丸

参加人数：七名
毎月、楽しくお酒を飲める会を設定していただいた幹事さんに深く感謝申し上げます。

ありがとうございました。そして、今年もどうぞよろしく、お願いいたします。また、「役員定例連絡会」の開催案内につきましては、Facebook上の「鵬友会福岡支部」で検索していただくことができるようにしておきます。

うれしい時、かなしい時、さみしい時、なんとなく飲みたい時はぜひ「役員定例連絡会」をご利用下さい。

東海支部

支部長 中村 一
(48年度卒)

09087・56・6073
(自宅)

愛知県江南市富田花戸33

平成二十五年 第七回支部総会を開催

東海支部は昨年五月十一日第七回支部総会・懇親会を名古屋国際ホテルにて開催致しました。当日はお忙しい中、鵬友会本部の瀧谷会長にご出席いただき、合計十三名の支部総会・懇親会を盛上げていただきました。その後は例年通り、二次会へ向かい更に親睦を深

めることが出来ました。

また、今回の総会で支部役員の改選を行い、事務局長に阪 勇人さん(平成十三年度卒)、総務広報に改發久則さん(平成二年度卒)を選出致しました。若返った役員二人と連携をはかり支部活動の活性化に努力したいと考えます。



佐世保支部

支部長 藤本 秀人
(55年度卒)

09096・34・8148
(自宅)

長崎県佐世保市天神町5・12・24

この一年を振り返って

鵬友会佐世保支部は、平成二十五年二月二十三日(土)に設立総会を開催し、支部としての活動を開始して年が経過しました。全国の支部の中では十二番目の設立となります。大学本部のある地域として、「大学との深い関わりを持つ」同窓会活動を行う」ことを目



長崎支部

●支部長 尼崎 彰
(50年度卒)
☎0915・8339・95556
(自宅)
長崎県長崎市かき道4・40・7

平成二十五年度 長崎支部活動報告

平成二十五年度の長崎支部における活動状況についてですが、まずは、七月十三日に「レオプラザホテル佐世保」で開催された鵬友会役員総会、懇親会に長崎支部からも出席しました。大学関係者や鵬友会本部の方々と多くの会員の皆様と交流を深めることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

また、十月二日及び三日に開催された佐世保就職セミナーには、長崎支部からも三名が参加し、先生方とともに学生への面接指導等の就職支援を行いました。初日は自信なさげに答えていた学生が、最終日には堂々と自分の意見を述べる姿をみて、学生の成長を感じた一日間でした。

さらに、長崎支部では大きなイベントとなっている毎年恒例の総会・新年会を平成二十六年一月二十五日に長崎市の「セントヒル長崎」で開きました。当日は、大学から古河副学長に、本部からは藤本副会長にご出席いただき総勢二十四名の皆様と、懐かしい思い出や、貴重な情報交換など楽しいひとときを過ごすことができました。

今回の総会・新年会には、福岡支部からも駆けつけていただき、おなじみの顔ぶれの方々に加え、初参加の方も多数参加していただくなど、たくさんの方の皆様に集まりました。今後も、大変賑やかな会となりました。今後も、

関西支部

●支部長 星 憲夫
(47年度卒)
☎072・2665・5750
(自宅)
大阪府高石市本町一・27・7

関西支部 就職セミナー報告

新年の関西支部・恒例行事として定着した、関西支部就職セミナーが今年も自然豊かな兵庫県佐用町にあるセミナーハウスにて実施された。

今回は昨年十一月に実施された佐世保就職セミナーの参加者から希望者三名が参加した。

また鵬友会からは、本部・長崎支部各一名、関西支部三名が参加。

(鵬友会五名・学生三・回生三名 合計八名参加)

初日は昼食・自己紹介の後、佐世保就職セミナーで行った二時間の自己PRを中心に面接の練習が行われた。昨年十一月の佐世保就職セミナーの効果もあり、エントリーシートの作成も学生時代に取り組んだことを中心にしっかりとまとめており、また学生各人が堂々と自己PRできていた。

ただ、実際の面接や入社後は、自分の活動の結果が求められるため、自分たちが学生時代に取り組んだことの最終結果や、今後自分がどう会社で貢献していきたいのかなどなどをPRする様にとの厳しい助言が相次いだ。

最初は学生もアドバイスに対して戸惑いの表情が見られたが、学生各自が前向きに捉え、その後の夕食や暖炉を囲んでの会話では積極的な質問や会話が行われた。

夕食は兵庫県瀬戸内の新鮮な牡蠣を皆で味わい、その後は各自が持参し

支部の活動がより活性化するように、会員の皆様からもご提案をいただきながら検討していきたいと考えています。

なお、今年度も例年通り年明け一月に総会・新年会を開催する予定です。詳しい日程等が決まりましたら同窓会のホームページ等でお知らせしますので、会員の皆様ふるってご参加ください。



お願い!!

事務局では日々名簿の更新を行っていますが、多くの会員の手元に届くよう努力しています。

卒業生の皆さん、鵬友会からの出欠ハガキ等は必ず返信して下さい。ちょっとした心掛けが、同窓会を応援しているのです。

中国支部

●支部長 栗根 秀則
(59年度卒)
☎082・278・2635
(自宅)
広島県広島市西区若5・2・52・701

『地区会拠点担当者』 募集中。

是非とも、ご一報を！

平成三年十一月の中国支部設立から早いもので二十三年が経過しようとしております。この間、広島市と福山市の二拠点を中心として、このほか山口市などで、地区会を開催して参りました。

そして平成二十五年五月には、念願の岡山市で中元範彰(48年度卒)先輩をはじめ五名の参加をいただき地区会を開催することができました。これも一重に、久川勝己(46年度卒)先輩の絶大なるご支援を頂く中で実現できたもので、大変感謝いたしております。

平成二十六年三月には福山で恒例の地区会を開催しました。

平成二十六年五月には、広島での地区会を、六月には岡山で二回目の地区会を計画し、佐世保の地への思い出を語らいながら楽しいひと時を過ごすこととしております。

今後ベースの広島、福山、岡山の三拠点以外においては、地域分散小規模開催最低三回以上の参加を目指して取り組んで参りますので、中国地方特に山陰地区、山口地区で拠点担当事務局を引き受けていただける方、是非ともお気軽にご一報いただきますようお願い申し上げます。その際には、緒になつて同窓生の掘り起こしから行いますので、どうかご安心ください。

また、ご意見・ご要望・情報等含め何でもご連絡いただきますよう重ねてお願いいたします。

宮崎支部

●支部長 砂原 俊秀
(49年度卒)
☎0985・566・7318
(自宅)
宮崎県宮崎市希望ヶ丘3・2・11

総会時期の変更で 集まりやすい環境を。

平成二十三年一月に立ち上げました鵬友会宮崎支部も、今年は四年目を迎えました。支部設立以来、大学関係者や他支部の方々との交流が年々深まるにつれ、改めて長崎県立大学のすばらしさを感じ、また、これまで鵬友会の同窓会活動を支えてこられた諸先輩方のこれまでのご努力と功績に厚く感謝申し上げます。

さて、これまで月に宮崎支部を設立した関係上、総会を例年二月・三月にかけて開催しておりましたが、年度決算の途中で行っていたことから、第四回宮崎支部総会より時期の変更を行いたいと考えております。

他支部の総会開催もありますので、次回役員会で時期を決定し、宮崎支部の皆様方にご案内いたします。今しばらくお待ちください。

宮崎支部の皆さん、今後私達卒業生が「長崎県立大卒業生で良かった」と思い続けることができるよう、可能な形で在学生を支え、ひいては宮崎支部を盛り上げていきたいと思っています。年々宮崎県在住の卒業生も増えておりますので、皆さん一人ひとりのお力添えをお願いいたします。

また、これまでに総会に参加できなかった方も是非一度遊びに来る感覚



佐賀支部

●支部長 坂井 真洋
(51年度卒)
☎090・8831・0759
(自宅)
佐賀県三養基郡牧志町原古賀1024・7

今年は支部総会の年。 皆様のご参加を！

本年は、二年に一回開催しています「鵬友会佐賀支部総会」の年です。秋に開催予定で、九月頃に御案内をお届けできる予定です。

「同窓会」というと、仕事や子育てなどが「段落しないと出席する余裕もないかもしれません。でも、そういう多忙と思われるような時期にこそ、気分転換を兼ねて出席してみられたらいかがでしょうか。

同期生・先輩・後輩とアットホームな雰囲気の中で異業種交流を体験でき



鵬友会ホームページを見えていますか？ 住所変更はホームページでOK！

現在、鵬友会のホームページは随時リニューアルし、最新情報が盛り沢山。デザインも、以前とは一味違ったホームページになっています。大学の近況、鵬友会の活動状況、会員の声など情報が一目で……。もちろん住所変更等にもご利用いただけます。

【鵬友会ホームページ】 <http://homepage1.nifty.com/ho-yu/>
【鵬友会メールアドレス】 ho-yu@nifty.com
【管理者メールアドレス】 komuro@ho-yu.com (小室 宏／関東支部)

転居の際は必ず新住所を 事務局へお知らせ下さい

郵便局の転送サービスで会報を受け取られた場合は、その時点では宛先不明で戻ってこないため、住所を変更されたことがわかりません。そのため転送期間終了後は、鵬友会からの情報をお届けすることが出来ませんので、転送サービスで届いた方、住所を変更される方は事務局に必ずお知らせ下さい。

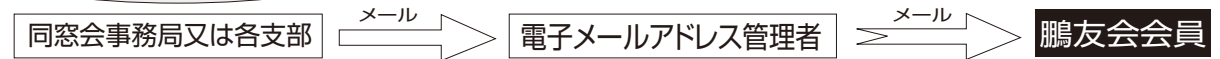
メールでの情報を希望の会員はアドレスをお教えてください。

年々会員数が増加するなかで、総会や各支部活動の案内の連絡を、従来の郵便に頼っていたのでは、同窓会活動経費を圧迫してしまいます。そこで、平成15年7月の役員総会において、今後は積極的に電子メールを使った情報連絡に取り組むことを決議いたしました。つきましては、会員の皆様はメールアドレスを管理者にお教えください。なお、会員の皆様からいただいたメールアドレスは、プライバシー保護の観点から、厳重に管理し、他へは一切漏らしませんので、ご安心ください。また、登録メールアドレスの確認も含めて、この会報の届く直前に「会報発送メール」を送信しました。メールアドレスを以前に登録いただいている方で、未着の方は誤ったメールアドレスが登録されている可能性がありますので、再度お知らせください。

メールアドレスの管理者氏名／小室 宏／関東支部長・アドレス／komuro@ho-yu.com(ここにメールを送って下さい)

本部・支部の情報

●メールによる情報連絡の流れ



で総会に参加してみてください。旧友との久しぶりの再会や新しい出会いがあると思います。宜しくお願いたします。

関東支部

●支部長 小室 宏
(52年度卒)
☎080・76005・6214
(自宅)
埼玉県飯能市美杉台1・20・15

「〇〇先生を囲む会」を立ち上げ予定。

昭和42年度入学	27名	昭和53年度入学	14名	平成元年度入学	4名	平成12年度入学	3名
昭和43年度入学	22名	昭和54年度入学	11名	平成2年度入学	0名	平成13年度入学	8名
昭和44年度入学	15名	昭和55年度入学	16名	平成3年度入学	15名	平成14年度入学	4名
昭和45年度入学	15名	昭和56年度入学	6名	平成4年度入学	11名	平成15年度入学	7名
昭和46年度入学	7名	昭和57年度入学	14名	平成5年度入学	12名	平成16年度入学	6名
昭和47年度入学	9名	昭和58年度入学	13名	平成6年度入学	12名	平成17年度入学	15名
昭和48年度入学	10名	昭和59年度入学	14名	平成7年度入学	7名	平成18年度入学	8名
昭和49年度入学	11名	昭和60年度入学	10名	平成8年度入学	10名	平成19年度入学	0名
昭和50年度入学	3名	昭和61年度入学	9名	平成9年度入学	1名	平成20年度入学	9名
昭和51年度入学	5名	昭和62年度入学	5名	平成10年度入学	4名	平成21年度入学	0名
昭和52年度入学	11名	昭和63年度入学	9名	平成11年度入学	9名	平成22年度入学	整理中

上の表は、東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県の住所を自宅として鵬友会本部の同窓会名簿データに登録してある方の人数です。関東支部の在籍者数を表しています。

昭和四十二年四月の開学時は経済学科のみで定員二〇〇名、平成三年四月の長崎県立大学に名称変更流通学科新設時は定員四六〇名、平成十七年四月の流通・経営学科名称変更・地域政策学科新設時からは定員四五〇名です。

平成三年度以降の入学定員はそれ以前に比べて倍増しているわけですが、関東支部の人数は増えているとは言いが難しくなっています。

なぜ、このようになっていているのでしょうか。卒業後の進路が変わってきているからという方がおられると思いますが私は「隠れ関東在住者の増加」が最大の要因だと考えます。

水面下での出来事です。で、残念ながら立証はできません。

実際にお住まいのところで支部活動に（つまり関東にお住まいの方には関東支部活動に）魅力を見出していただくことです。

そのためには行くことは大きく二つ。
●ひとつは、支部活動の見直し。
●もうひとつは、支部活動をPR。

関東支部の新たな活動として「〇〇先生を囲む会」（仮称）を立ち上げます。

というわけで、全国の同窓生の皆様にお願いがございます。

今でも恩師と年賀状のやり取りをされている方は、その恩師の連絡先をお教えいただけませんかでしょうか。

個人情報ですから、まずは「〇〇先生の連絡先を知っている」というのだけで

仲間の「輪」を広げてくれることも期待しています。 以上

大分支部

●支部長 安部 賢一
(48年度卒)
☎0977・21・5450
(自宅)
大分県別府市鶴見2・1

「就職セミナー」について

当支部の恒例行事となっている「就職セミナー」についてご報告します。

大分支部は前身の「大分弓張会」発足からかぞえ、今年で二十一年目となりますが、発足当初から開催している「就職セミナー」は、昨年十二月をもって十七回目となりました。

このセミナーは、大分県内出身の大学三年生を対象に開催するもので、次のような内容です。

・県内有名企業の人事担当者（役員等）や就職情報専門会社の担当者による講演

二、座談会形式によるセミナー
直近卒業生による体験談発表、内定者による体験談発表、参加学生による「自己紹介・自己PR」（二分開）

三、懇親会（食事をしながら）：
その後、二次会：

本セミナーは、大変厳しい就職環境の中で頑張っている三年生に、OBとして「就職活動を是非応援したい」という全員の気持ちと、「おかげさまで就職が決まりました。このセミナーが大きな力になりました。」といった言葉が嬉しくて、笑顔が嬉しくて、ここまで永年続けることができました。

（二次会、三次会でOBの財布は軽くなりますが）

これからも、当支部会員全員で三年生の就職活動をバックアップしていきます。また、就職後は「明るく、元気な」当支部の会員となつて活躍し、

結構です。

お教えいただいた方を仲人にして、先生には「〇〇先生を囲む会」の実現をお手紙にてお願いいたします。

支部活動のPRは、固まっている関東支部のホームページの再開だけでなくフェイスブック、ツイッターなどの多方面での情報発信です。

何年か後に最初の表をまた作ったとき、今とはガラッと変わる数字を夢見て、関東支部の活動を行っていきたいと思います。

是非、「〇〇先生を囲む会」の実現にご協力ください。

連絡は、komuro@ho-yu.com へのメールか、〒357-0041埼玉県飯能市美杉台1・20-15への手紙でお願いいたします。

なお、今年度の関東支部総会は、六月二十一日（日曜）の予定です。

鹿児島支部

●支部長 濱田 一穂
(49年度卒)
☎080・2697・9677
(自宅)
鹿児島県鹿児島市豊後台3丁目43・12

鹿児島支部のご紹介

鹿児島支部が発足して今年で五年になります。発足当初から多くの卒業生に参加していただき、和気藹々とした支部の運営ができていることに感謝、感謝。

昨年二月十六日に、第四回鹿児島支部総会を開催しました。

り多数参加されていることで、昨年十二月の忘年会にもすでに多数の参加があり、今回も総会出席の約束を頂いています。

また、他支部総会に出席した際に、仕事で熊本在住の卒業生（女性）の方にも出席のご返事を頂いております。

熊本支部の行事として、総会のほかに忘年会とゴルフコンペがあります。

忘年会は、十二月の上・中旬に毎年行います。場所は中心街の居酒屋を予定していますが、今後若手の出席が多ければ、もっと洒落た处もいいな、と思っています。

他支部の方も、また、ゴルフだけの参加もOK。お待ちしています。

（ゴルフは、ほぼ毎月、「二三組で行っていますので、是非ご連絡ください。毎回遠路福岡から数名の参加もあります。」

総会や忘年会の案内葉書は出していますが、届かなかった方は是非ご連絡ください。熊本に縁の無い方でも、「くまモンが好き」と言うだけでもOKです。

今後、合コンやレクリエーションなどの要望があれば、そういう企画も考えて行きたいと思っています。

今後の支部の活動方針としては、今までと同じく大学や卒業生、現役学生への協力・助成、本部との協力・協調、他支部との交流・協力等を基本とし、実際の支部活動としては、支部会員の親睦と相互協力を最大の目的とし、そのため、参加会員数の拡大（特に女性と若手会員）を図りたいと思っています。

県内の会員の方で、都合で出席できない方とも、是非交流を深めて行きたいところです。で、将来は、県南や阿蘇、天草まで出向き交流会を開きたいと思っています。そちらにお住まいの方は是非、総会案内の返信に交流会の要望などを書き下さい。

今後とも熊本支部をよろしくお願いします。

平成25年度 鵬友会本部活動報告

☆は支部応援活動

〔平成25年〕

- 4月3日 第6回大学入学式 於：アルカスSASEBO
千北副会長・宮地副会長出席
- 4月20日 本部役員会議 於：レオプラザホテル佐世保
- 4月20日 ☆福岡支部総会 於：天神平和楼
- 5月11日 ☆東海支部総会 於：名古屋国際ホテル 澁谷会長出席
- 6月1日 会報「おおとり」vol.26発行（10,611通）
- 6月1日 ☆熊本支部総会 於：熊本交通センターホテル 藤木副会長出席
- 6月16日 ☆関東支部総会 於：飯田橋・千代田区立富士見区民館
- 6月18日 大学就職ガイダンス講師 松本文昭氏
- 6月29日 本部役員会議 於：レオプラザホテル佐世保
- 7月13日 鵬友会総会 於：レオプラザホテル佐世保
- 7月30日 鵬祭実行委員会へ運営費援助
- 10月13日 ☆関西支部総会 於：筑漸 藤木副会長出席
- 10月15日 大学就職ガイダンス講師 中原浩二氏
- 10月19日 本部役員会議 於：レオプラザホテル佐世保
- 10月22日 大学就職ガイダンス講師 永嶋圭祐氏

- 11月2・3日 佐世保就職セミナー 於：長崎県立大学
学生135名、OB40名が参加
- 12月22日 大分就職セミナー 於：大分センチュリーホテル
- 〔平成26年〕
- 1月25日 ☆長崎支部総会 於：ホテルセントヒル長崎 藤木副会長出席
- 2月7日 ☆佐世保支部会員交流会 於：佐世保玉屋 宮地副会長出席
- 3月19日 第3回大学卒業式 於：長崎プリックホール 宮地副会長出席
大学678名、大学院18名が卒業
佐世保校卒業生へ鵬友会より記念品として実用辞典を贈呈
- 3月29日 本部役員会議 於：レオプラザホテル佐世保
- 3月31日 平成26年度入学生416名より終身会費として
4,992,000円が納入された

平成25年度も各支部の応援を含め、多くの活動を行いました。
平成26年度も各支部とのより深い連携を計りながら鵬友会発展のため活動を行います。
会員皆様のご協力をお願い致します。



第4回支部総会



25年12月役員会

発足当初から支部の運営に尽力いただいた中野支部長、本当にご苦労

その中で、今後の支部総会の開催を隔年で開催すること。役員の改選を行うことなど決めました。
これを受けて、昨年十二月に役員会を開催しました。

二十五年年度の活動状況と収支状況の報告のあと、懸案事項であった役員体制の見直しを行いました。若返りを図りながら、より層支部活動が活発になるようにしていく所存です。

役員会の結果、今年度より私 濱田一穂（49年度卒）が支部長として引き継ぐことになりました。これまで事務局を担当してきましたが、今後中野支部長の後任として如何ほどのことが出来るか分かりませんが精一杯努力していきますのでよろしく願います。

様でした。発足から今日まで過怠なく運営できましたこと、中野支部長の一方ならぬご尽力があつたればこそと、思っております。

本当にご苦労様でした。

新しい体制の役員は次の通りです。

顧問 中野 実
支部長 濱田 一穂
副支部長 松久 銀治郎
副支部長 徳井 浩紀
副支部長 荒井 透雄
事務局長 吉ヶ崎 茂
監査 斎藤 眞一

新しく役員になられた方々のお力を結集して同窓生の皆さんの心の拠り所となるような支部になるよう努力していきたいと思っておりますので、一層の皆さんのご協力をお願いします。また、前役員だった皆さんには、新体制をサポートして頂きます。

第四回支部総会以降、隔年開催ということで、今年は皆さんに親しく会うことができませんが、来年は皆さんの元気なお顔と接することができるよう役員同準備に取り掛かっているところです。

鹿児島支部総会の参加者は、例年二回生から直近の卒業生まで、幅広い層の方々で構成されています。最近では女性の参加者も徐々に増えてきています。こういった流れを大事にしながら、参加者の拡大に努力していきたいと思ひます。

また、鹿児島出身ではないけれど、鹿児島に在住しておられる卒業生の皆さんの参加も大歓迎ですので、是非出席してください。多くの仲間が集える支部総会にしていくつもりでありますので、よろしく願ひします。

先に案内したように、次回の鹿児島支部総会は来年二十七年に開催します。詳しい日程等が決まり次第、皆さんにご連絡いたしますので、重ねてお願いいたします。

平成26年度予算（案）

(収入の部) (単位：円)				平成26年4月19日
	科 目	予算金額	備 考	
1	会費（卒業生）	192,000	@12,000×16名	
2	会費（新入生）	5,040,000	@12,000×420名	
3	名 簿 代	-		
4	寄付金	300,000		
5	預金利息	1,500		
6	雑収入	170,000		
	(小計)	5,703,500		
	前年度繰越金	5,398,016		
	合計	11,101,516		

(支出の部)				
	科 目	予算金額	備 考	
1	鵬祭援助金	150,000		
2	卒業記念品代	240,000		
3	通信費	1,130,000		
4	人件費	900,000		
5	支部活動費	960,000	12支部	
6	旅費交通費	300,000		
7	渉外費	80,000		
8	事務局費	120,000		
9	印刷費	850,000		
10	鵬友会基金特別積金	-		
11	留学生関係費	-		
12	会議費	80,000		
13	総会費	600,000		
14	雑費	10,000		
15	部活援助費	20,000		
16	就職活動援助費	150,000		
	(小計)	5,590,000		
	次年度繰越金	5,511,516		
	合計	11,101,516		

平成25年度貸借対照表

(単位：円) 平成26年 3月31日			
資産の部		負債・資本の部	
現 金	46,466	鵬友会基金特別積立金	6,000,000
普通預金	7,037,369		
定期預金	4,314,181	繰越金	5,398,016
合計	11,398,016	合計	11,398,016

鵬友会の同窓会活動を支えてください

鵬友会会員1万3千名の同窓会活動費は終身会費で賄っており、終身会費は、概ね新入生の終身会費一括納入に頼っているのが現状です。同窓会活動は、就職セミナー、支部活動等年々活発化しており、その活動を支える同窓会活動費が逼迫してきています。終身会費を既に納入いただいた同窓の皆さんに寄付のご協力をお願いすると共に、終身会費を納めていただいていない同窓の皆さんには、是非この機会に納入をお願いします。出費多難の折とは存じますが、同窓会活動をご支援ください。

◆終身会費◆	
12,000円(会費：1万円・入会金：2千円)	
◆寄 付 金◆	
金額は	3千円 5千円 1万円 それ以上は随意

※同封の振込用紙にて振込み下さい。
※申し訳ありませんが、払込手数料はご負担ください。払込手数料は、郵便局窓口は130円、5万円以上は340円、郵便局ATMは80円、5万円以上は290円となります。
★お問い合わせは事務局まで
TEL:0956-47-5146(電話窓口:平日午前9時～12時まで) E-mail:ho-yu-@nifty.com

同窓会は終身会費で運営されています。会費納入にご協力下さい。

平成25年度予算及び決算報告書

(収入の部) (単位：円) 平成26年 3月31日				
	科 目	予算金額	実績金額	備 考
1	会費（卒業生）	156,000	204,000	@12,000×17名
2	会費（新入生）	0	24,000	@12,000×2名
3	会費（次年度新入生）	5,520,000	4,992,000	@12,000×416名
4	名簿代	0	10,000	@5,000×2名
5	寄付金	248,000	325,000	63名
6	預金利息	2,000	1,451	
7	雑収入	320,000	336,260	
	(小計)	6,246,000	5,892,711	
	前年度繰越金	5,297,913	5,297,913	
	合計	11,543,913	11,190,624	

(支出の部)				
	科 目	予算金額	実績金額	備 考
1	鵬祭援助金	150,000	150,000	
2	卒業記念品代	250,000	235,200	
3	通信費	1,300,000	1,091,224	
4	人件費	900,000	892,420	
5	支部活動費	960,000	960,000	
6	旅費交通費	300,000	277,801	
7	渉外費	200,000	51,000	
8	事務局費	300,000	299,788	
9	印刷費	1,000,000	817,900	
10	鵬友会基金特別積金	0	0	
11	留学生関係費	0	0	
12	会議費	100,000	76,125	
13	総会費	700,000	784,851	
14	雑費	10,000	3,799	
15	部活援助費	20,000	0	
16	就職活動援助費	150,000	140,500	
17	会費返戻	0	12,000	
	(小計)	6,340,000	5,792,608	
	次年度繰越金	5,203,913	5,398,016	
	合計	11,543,913	11,190,624	

(収入の部合計)－(支出の部合計)＝(次年度繰越金)
11,190,624－5,792,608＝5,398,016
平成26年4月5日 鵬友会会長 澁谷 明幸
収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。
会計監査 林 宏俊・岡 龍彦

平成25年度鵬友会基金特別積立金

(単位：円) 平成26年 3月31日				
項 目	入 金	出 金	残 高	
期首残高	－	－	6,000,000	
当期繰入	－	－	－	
期末残高	－	－	6,000,000	

平成25年度財産目録

(単位：円) 平成26年 3月31日		
預金種目	金 額	預 入 先
現金	46,466	
郵便貯金	24,000	佐世保西郵便局
普通預金	6,830,885	親和銀行本店営業部
普通預金	182,484	親和銀行相浦支店
定期預金	4,314,181	親和銀行本店営業部
(現預金合計)	11,398,016	
出資金	0	
合計	11,398,016	

昨年度寄付のお願いを致しましたところ、多くの会員よりご寄付を頂きました。ありがとうございました。紙面を借りましてお礼申し上げます。鵬友会運営のためには皆様のご協力が必要です。引き続きよろしくお願い致します。

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会長 澁谷 明幸

寄付者名簿(H25.4～H26.3)順不同・敬称略

龍造寺忠實	榊原 雄三	市川 和輝	金子 博美	太郎浦雪乃
安部 勝己	千北 裕吉	紀伊 正彦	境 松太郎	榎原 文男
樋谷 寛治	羽有 郁夫	金崎 公英	高森平太郎	宮坂 崇
長神 英聖	宮田 慎吾	田中 哲朗	竹村 聖之	岡田 泰藏
宮地 学	吉田 安	古賀 裕章	磯部 裕二	角谷 真司
木下 秀一	馬場崎 直	坂本 博	坂本 憲治	藤田知寿さん
迫田 有一	斉藤 貴大	川末 朝江	尼崎 彰	(お母様)
田中 一成	松田 直樹	近藤 勇樹	國本 哲郎	河内 千波
時崎 茂	金子 順興	中島 憲二	小宮 三朗	野間 健司
三津木英夫	梅田 智子	上西 雄大	岡 孝次	井手 定
宮崎 久幸	佐伯 雅典	松本 文昭	森田 浩二	
和田 直也	竹下 博司	岩元 亮		
清田 健児	山門 達明	藤澤 隆典		
後藤 聖明	山本 育生	中島 勇		

寄付金合計
325,000円

前福岡支部長

安田秀夫君を忍ぶ

元福岡支部長 浜辺 千昭（二回生）

平成二十五年十月二十七日、元氣な太陽が二つ、この世を去りました。
安田君と知り合ったのは彼が二つ後輩として入学以来ですのでもう四十年以上になります。陸上部で槍投げをしていた彼は身体も百キロ以上もあり、見るからに元氣の固まりでした。

卒業してからは暫く疎遠な時期もありましたが、二十年程前私が福岡支部長をしている頃、退職して福岡に帰ってきた彼が支部総会に参加したことを機会に二層親しくなり、支部役員としての彼といつも一緒に居たような気がします。彼の明るく皆に好かれる性格は、喧しいを通り超す声の大きさを除けば本当に羨ましく思ったものです。

当時は普通に「浜辺先輩!」「安田!」と呼び合っていたのですが、ある日お酒の席で誕生日の話になり、「俺は十月や」「私も十月です」となり、さらには「俺は二十二日や」「私も二十二日です」に繋がりが、極めつけは「私は浪してるので全く一緒や!、じゃあ今日から浜ちゃんでもいいね」とその場から彼はタメ口に豹変し、その楽しい関係は彼が亡くなる迄続きました。

彼の腫瘍については以前から聞いてましたが、「良性だから」という彼の言葉に安心し、数年に一度の定期入院検査が終わるとまたゴルフ、飲み会と普通につき合っていました。五年前、十五年務めた福岡支部長も彼に代わってもらい、新しい福岡支部の応援役に回らせてもらいました。

三年程前でしょうか、腫瘍を摘出するという事で全身麻酔での十三時間の手術に及んだのですが、腫瘍の場所が血

管の複雑なところにあり摘出できずに結局閉じてしまいました。長時間にわたる手術による体力消耗、それから抗ガン剤の副作用もあって体力が日に日に落ちていき、声量のある素敵な声もかすれた声に変わり、いろんな治療を自分で調べて受ける日が続きました。それでも彼の人の気持ちを考える優しい性格は変わることはありませんでした。

私も出来るだけ彼と居る時間を作ろうと決め、仕事で近くを通るときはドライブに誘ったり、彼の好きな釣りに一緒に行ったりしていました。それでも三ヶ月位毎に入退院し、声がさらに小さくなり、少しずつ痩せていく彼を見るのはつらいものがありました。

そうした中、昨年十月二十日頃「今週定期入院してくるよ」と言つて病院に行った後十月二十六日、奥さんから「病院からあと二週間と言われました」と電話があり、絶句しました。すぐにメールを打ち「元氣か!明日見舞いに行くぞ」と伝えましたが、返事は「きついから来なくていいよ」でした。それでも翌日居ても立つてもいられなく、駆けつけた病室で見た彼は呼吸器を付け、声もほとんど聞き取れない状態でした。手を握り必死で話しかける私に「ありがとう」という言葉を返してくれました。「明日また来るね、退院のときは車で迎えにくるから」と言つて病室を出ると涙が溢れてきました。

その夜、奥さんから「今眠るように息を引き取りました」との連絡。自分の親が亡くなった時より数倍の悲しみが込み上げ、大泣きしたのを思い出します。

翌日のお通夜と葬儀は家族葬でと言われていましたが、鵬友会の仲間を始め、多くの友人に見送られた彼は本当に安らかな顔をしていました。細くなった骨をご家族と一緒に拾わせてもらい、お寺での四十九日にも参列させてもらいました。

今でも安田君が亡くなったことが信じられません。いつも仲間の中心に居た太陽、そして親友安田秀夫君のご冥福を心からお祈りします。



私と一緒に



元氣にゴルフをしていた時期



安田秀夫氏を忍ぶ会/2013.11.29